依然として反対を確認

池北線合理化に足寄の守る会議

国鉄池北線の合理化上当局側の譲歩はかちとれそうもなく、下手をして見切り発車となつて当局が強行する場合、今春になつて「住民の足を守る足寄会議」（議長三原幸雄氏）に対して、このほど国労釧路地方本部から組合としてはこれ以上釧路鉄道管理局側からの合理化提案の団体交渉を拒否するわけにはいかなくなつたとの申し入れがあつたために、同会議では二十日に上利別集落センターに愛冠、上利別、大誉地三地区の役員三十余名があつまつて当面の対策を協議しました。

これまで同会議としても町議会の特別委員会にしても、国労地本が「地域住民の諒解がなければ合理化提案のテーブルにつかない」という方針に期待して反対運動をもりあげてきた形ですが、釧鉄局側としては「足を守る会議」を革新系の団体とみているようで地域全体の代表とは扱わないで当局の示した営業近代化計画には地域でそれ相当の理解が得られたとしているようで、国労としてはこれ以